

守備から速攻 後半機能

神森 男女V

ハンドボール県秋季大会

ハンドボールの第14回八重瀬町長杯争奪・第39回県秋季大会

は7日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われた。男女ともに神森が優勝した。男子は神森が31-24で仲西を制し、6年連続15度目の優勝を果たした。女子は神森が後半で仲西を引き離して25-20で競り勝ち、3年ぶり12度目の栄冠を手にした。

持ち味発揮 女子3年ぶり

神森と仲西の決勝は、互いに2点差以上の開きが出ない拮抗した展開が続いたが、後半に試合が動いた。16-14の場面で多和田真尚コーチが「どんどんスピードに乗っていこう」と手を叩いてハッパを掛けると、打てば響くように快進撃が始まった。

仲西がタイムアウトを取ったが、多和田コーチがこの一線守備のスペースを突かれて敗れた。悔しさをバネに守備の当たりを強化し、カバーも速める練習をひたすら積み重ねてきたと振り返った。

多和田コーチは「培ってきた。準決勝で浦西に大差でリベンジし、決勝も堅守が勝因の一つとなった。伊禮はト上の選手も運動し、チームが活気づいた。伊禮は「チームプレーを強くしたい」と前を向いた。

多和田コーチは「培ってきた。準決勝で浦西に大差でリベンジし、決勝も堅守が勝因の一つとなった。伊禮はト上の選手も運動し、チームが活気づいた。伊禮は「チームプレーを強くしたい」と前を向いた。

ハイライト



神森-仲西 後半、ディフェンスを突破しシュートを放つ神森の前里玲衣=7日、東風平運動公園体育館（新里圭蔵撮影）



男女アベック優勝を果たした神森中のメンバー

速さで圧倒6連覇 男子

○男子神森が31-24で仲西に快勝し6連覇を成した。上背のない神森は3-2-1守備で高い位置でプレスをかけ、ボールを奪い速攻につなげた。左バックの洲鎌史成主将は「出だしで引き離すところ得点を挙げたが、後半はけがでベンチに下がった。」

洲鎌主将は「出だしで引き離すところ得点を挙げたが、後半はけがでベンチに下がった。」

左利きエース、右バックの儀間颯真が「(洲鎌の)穴を埋める」と持ち前のスピードで抜けてミドルシュートを量産し、チーム最多の8得点の活躍をみせた。吉野泰基は「フルバックのバックパスなど個人技で翻弄(ほんろう)した。」

新チーム結成後は下半身の強化に力を入れた。儀間は「1対1に強くなる」と当たり負けしない身体を作ると、大舞台に目を向ける。



神森-仲西 後半、ディフェンスの隙を突いてシュートを決める神森の儀間颯真

【男子】		【女子】	
▽準決勝		▽準決勝	
神森	35	仲西	28
1421	1414	神森	40
109	127	1413	2218
19	19	1210	1110
普天間	西原	22	21
神森	31	南風原	西
1516	1615	22	23
1212	1512	南風原	35
24	27	1411	1916
仲西	西原	812	1211
仲西	原	20	23
神森	31	仲西	西
1516	1615	神森	25
1212	1512	1411	1916
24	27	812	1211
仲西	西原	20	23
仲西	原	神森	25
神森	31	1411	1916
1516	1615	812	1211
1212	1512	20	23
24	27	仲西	西
仲西	原	神森	25
仲西	原	1411	1916
神森	31	812	1211
1516	1615	20	23
1212	1512	仲西	西
24	27	神森	25
仲西	原	1411	1916
仲西	原	812	1211
神森	31	20	23
1516	1615	仲西	西
1212	1512	神森	25
24	27	1411	1916
仲西	原	812	1211
仲西	原	20	23